

だい かいあい ち けんしょうがいしゃ ぎ のうきょう ぎ たいかい
第47回愛知県 障 害者技能 競 技大会

ビルクリーニング ぎょうぎ ぎょうぎ かいだい
競 技 競 技課題

いっぱんてき ちゅうい じこう
一般的な 注 意事項

きょうつう
< 共 通 >

- 1 課題は、課題 1「カーペット床清掃」と課題 2「弾性床清掃及び机上 清掃」の 2 課題です。
また、競 技は、課題 1 の「カーペット床清掃」、課題 2 の「弾性床清掃及び机上 清掃」の 順
番で行います。課題 1 と課題 2 の 間 は 休 憩時間となり指定場所で待機していただきます。
- 2 どちらの課題も、作 業 面積は、16 m²(4m×4m) 幅木による区画とし、幅木の上には壁があ
るものとして作 業 を行ってください。
- 3 作 業 場所にある 机 は、移動させないでください。
- 4 2 課題とも次の規定 時 間が定められています。
① 課題 1 7 分 ② 課題 2 10 分
なお、両 課題とも残り時間が少なくなったところでアナウンスします。
① 課題 1 2 分 ② 課題 2 3 分
また、規定時間をそれぞれ 1 分超えたところで打ち切りとします。打ち切りとなった 競 技者
は、競 技委員の指示に従ってください。
- 5 各課題とも作 業 開始の指示は 競 技委員が行います。競 技者は、挙手または「はじめます」
と申告して、スタートしてください。競 技が 終 了したら挙手または「終わりました」と申告
してください。また、作 業 ごとの、入 退 出 を行 う際には会 釈 (軽く挨拶や礼) をしてくだ
さい。
競 技 中 は 上 記 以 外 の 声 は 出 さ ない で ください。

※ 始めと終わりの申告は、声を出すことが困難な場合は、挙手のみで構いません。

- 6 課題においてイスを机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげてください。
- 7 作業終了後、競技時間を発表します。
- 8 両競技では、支給された資機材以外は使用できません。
- 9 使用した資機材は、競技委員の指示に従って後片付けを行ってください。
- 10 競技の採点は、作業準備・作業動作(手順)・仕様誤り・作業態度・作業時間の5つの面から審査し、加点方式により行います。
- 11 競技者は、本競技に適した服装をしてください。作業帽又は三角巾を着用してください。

<課題1 カーペット床清掃>

- 1 床の材質は、繊維系の床面とします。
 - 2 作業は、掃除機によるカーペット床の除塵作業です。
 - 3 床のゴミは、「シュレッダーで裁断した紙」とし、50ml程度をまいたものとします。
- ※ 競技で使用するポット型掃除機は、掃除機のノズル(ブラシ)の部分から空気の流れを利用してゴミを吸引し空気を排気します。

<課題2 弾性床清掃及び机上清掃>

- 1 床の材質は、塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
- 2 作業は、床面の除塵・拭き・ゴミ処理及び机上拭き作業です。
- 3 本課題で使用する資機材・消耗品は、作業カートに載せてありますので、不足なものがなければ点検し使用してください。
- 4 モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に適切な長さに、競技者自身で調節してください。
- 5 乾式モップ用のクロスは、競技者が作業前に乾式モップヘッドに取り付けてください。
- 6 クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部、モップの柄は作業カートの所定

の位置にそれぞれ 競技開始前にセットしてください。

7 床のゴミは、「おがくず」とし、50ml程度をまいたものとします。

※両課題ともゴミの量は50ml程度を使用しますが、コート全体にゴミがあるものと 考えて 競技を行ってください。

【資機材一覧】

1. 競技会場に準備されているもの

(1) 課題1

品名	寸法又は規格	数量
作業 表示板		1 個
真空掃除機	ポット型 リンレイ RD エコ2型	1 台
つくえ 机	ビルクリーニング技能検定資機材に 準拠	1 台
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚
ゴミ箱	角型	1 個

(2) 課題2

品名	寸法又は規格	数量
作業 カート	ビルクリーニング技能検定資機材に 準拠	1 台
作業 表示板		1 個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1 本
ラーグ (モップ房)	260 g 白 色	1 個
小型ぼうき	30cm幅用	1 本
乾式モップヘッド	63cm	1 個

ぶん か 文化ちりとり	ぎ のうけんてい し き ざい じゅんきょ ビルクリーニング技能検定資機材に 準 拠	こ 1 個
タオル	む じ みず ぶ よう あおいろ まい 無地 水拭き用（青色） 1 枚 む じ ふ よう はくしよく まい 無地 から拭き用（白 色） 1 枚	まい 2 枚
ダスタークロス	はば ふ しよく ふ 69cm幅の不 織 布	まい 1 枚
ビニール 袋	ばこようかえふくろ ゴミ箱用替 袋	まい 1 枚
つくえ 机	ぎ のうけんてい し き ざい じゅんきょ ビルクリーニング技能検定資機材に 準 拠	だい 1 台
イス	しきお パイプ式折りたたみ	きやく 1 脚
ばこ ゴミ箱	かくがた 角型	こ 1 個

2. せんしゅ じ さん 選手が持参するもの

ひんめい 品名	すんぼうまた き かく 寸法又は規格	すうりよう 数 量
さ ぎよう ぎ うえ した 作業着（上・下）		ちやく 1 着
さ ぎようぼうまた さんかくきん 作業 帽又は三角巾		こ 1 個
さ ぎようぐつ 作業靴		そく 1 足

*持参するものは 上 記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することは差し支えない。

か だい
課題 1 カーペット床清掃 (作 業 時 間: 7 分)

さ ぎ しょう し ょ う
作 業 仕 様

さ ぎ しょう こう て い 作 業 工 程	さ ぎ しょう ほう ほう 作 業 方 法	ほ そ く じ こう 補 足 事 項	び こう 備 考
し き ざ い じ ゅ ん 資 機 材 の 準 び 備	さ ぎ しょう ひ つ よ う し き ざ い ・ 作 業 に 必 要 な 資 機 材 は、 か い じ ょ う じ ゅ ん び す で に 会 場 に 準 備 さ れ て い る。 し ん ぐ う そ う じ き ・ 真 空 掃 除 機 に は、ウ ォ ン す い こ み く ち ド と 吸 込 口 が セ ャ ッ ト し て あ る。 さ ぎ しょう ひ ょ う じ ぼ ん す で し ょ ・ 作 業 表 示 板 は 既 に 所 て い い ち た 定 の 位 置 に 立 て て あ る。	ひ つ よ う し き ざ い お よ す り ょ う ・ 必 要 な 資 機 材 及 び 数 量 し き ざ い い ち ら ん さ ん し ょ う は、資 機 材 一 覧 を 参 照 す る こ と。 し き ざ い か ふ そ く な じ ゅ ん ・ 資 機 材 が 過 不 足 無 く 準 び 備 さ れ て い る か 点 検 し、 い じ ょ う 異 常 が あ れ ば 申 し 出 る。	し き ざ い て ん け ん し ょ う ・ 資 機 材 の 点 検 終 り ょ う ご か か り い ん し じ 了 後、係 員 の 指 示 し た が し ょ て い い ち に 従 い 所 定 の 位 置 た に 立 つ。
き ょ う ぎ かい し 競 技 開 始 の あい さ つ 挨 拶	し ょ て い い ち た き ょ う ぎ ・ 所 定 の 位 置 に 立 ち、競 技 い い ん は じ あ い ず き ょ 委 員 の「始 め」の 合 図 で 挙 し ゅ 手 ま た は「は じ め ま す」と あい さ つ お こ な き ょ う ぎ かい 挨 拶 を 行 い、競 技 を 開 し 始 す る。	か た て あ い ち れ い ・ 片 手 を 挙 げ、一 礼 す る。	さ ぎ しょう かい し し ん こ く ・ 作 業 開 始 を 申 告 す こ え だ る。声 を 出 す こ と が こ ん な ん ぼ あ い き ょ し ゅ 困 難 な 場 合 は 挙 手 の か ま み で 構 わ な い。
さ ぎ しょう じ ゅ ん び 作 業 準 備	し ん ぐ う そ う じ き ほ か ん ば し ょ ・ 真 空 掃 除 機 を 保 管 場 所 か さ ぎ しょう ば し ょ ち か い ら 作 業 場 所 の 近 く へ 移 ど う は ず 動 し、コ ー ド を 外 し、プ ラ さ こ グ を コ ン セ ン ト に 差 し 込 し どう て ん け ん お こ な う み、始 動 点 検 を 行 う。	す い こ み く ち て き ょ う ・ 吸 込 口 に 手 を あ て、吸 い ん り ょ う て ん け ん 引 量 が あ る か 点 検 す る。	
に ゅ う し つ あ い さ つ 入 室 の 挨 拶	い り ぐ ち し つ な い む ・ 入 口 に て、室 内 に 向 か っ に ゅ う し つ あ い さ つ お こ な て 入 室 の 挨 拶 を 行 う。	し つ れ い と う い ち れ い ・ 「失 礼 し ま す」等 と 一 礼 に ゅ う し つ し て 入 室 す る。	
じ ょ じ ん さ ぎ しょう 除 塵 作 業	し ん ぐ う そ う じ き し ょ う そ と ① 真 空 掃 除 機 を 使 用 し、外	い り ぐ ち ふ ・ 入 口 の ゴ ミ を 踏 ま な い よ	・ ゴ ミ は、シ ュ レ ッ ダ さい だ ん 一 で 裁 断 し た も の を

(真空掃除 機)	から入口を除塵し、入室する。 ②室内での作業手順は、カーペット床作業手順のとおり行う。 ③ゴミ箱は、持ち上げて除塵する。 ④前進しながら除塵する。 ⑤作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。	うに広めに足場を確保する。 ・吸込口を床に強く押しつけない。 ・イスを手前に引き出し、机の下の除塵を行い、もとに戻す。 ・掃除機本体は、手で持つて移動する。 ・プラグを持って抜く。	50ml程度均等にまいてある。 ・掃除機のコードを持って抜かない。
点検	・指差し又は目視点検を行う。	・資機材の忘れ、ゴミの取り残しがないか点検する。	・声を出さないこと。
退室の挨拶	・出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	・「失礼しました」等と一礼して退室する。	
資機材の片づけ	・真空掃除機のコードを巻き、真空掃除機を保管場所に戻す。		
終了の挨拶	・所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	・挙手または「終わりました」の意思表示を行う。	・作業終了を申告する。声を出すことが困難な場合は挙手のみで構わない。

課題2 弾性床清掃及び机上清掃 (作業時間:10分)

作業仕様1-1

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	・作業に必要な資機材(タ オル・モップ等)は、すで に作業カート(以下「カ ート」)上部に準備され ている。 ①ワンタッチモップ柄(以 下「柄」)の長さを調整 し、カートの所定の場所 にセットする。 ②ダスタークロスを乾式 モップヘッド(以下「ヘッ ド」)に装着し、カート 上部に置く。	・必要な資機材及び数 量は、資機材一覧を 参照すること。 ・資機材が過不足無く 準備されているか点 検し、異常があれば申 し出る。	・資機材の点検終 了後、係員の指 示に従い所定の 位置に立つ。
競技開始の挨拶	・所定の位置に立ち、競 技委員の「始め」の合図で 挙手または「はじめます」 と挨拶を行い、競技を 開始する。	・片手を挙げ、一礼する。	・作業開始を申告 する。声を出すこ とが困難な場合は 挙手のみで構わな い。
作業準備	・カートを保管場所から作 業場所の近くへ移動し、		

	さぎょうひょう じばん た 作業 表示板を立てる。		
にゅうしつ あいさつ 入室の挨拶	いりぐち しつない む ・入口にて、室内に向かっ にゅうしつ あいさつ おこな て入室の挨拶を行 う。	しつれい いちれい ・「失礼します」等と一礼 にゅうしつ して入室する。	
イスあ げとゴミ しゅり 処理 (1) イスをあ げる (2) ゴミのかいしゅ う回収 (3) ゴミのぶくろ 袋のセ ット	さぎょうまえ きじょう ①作業前にイスを机上 あ に上げる。 ばこ ②ゴミ箱にセットされて び ぶくろ かいしゅ いるビニール袋を回収 する。 かいしゅ ぶくろ ③回収したビニール袋 をカートのぶくろ なか い の中に入 れる。 ぶくろ かわぶくろ ④ビニール袋の替袋を と だし ばこ 取り出し、ゴミ箱にセッ トする。 ばこ きじょう あ ⑤ゴミ箱を机上に上げ る。	つくえ うご ・机は動かさない。 つくえ だ ・イスは机からはみ出 さないように正しくの せる。 ぶくろ ただ ・ビニール袋を正しく セットする。 ばこ つくえ ・ゴミ箱は机からはみ だ 出さないように正しく のせる。	
じょじん さぎょう 除塵作業 かんしき (乾式モップ)	そうちやく ①ダスタークロスを装着 したヘッドはいりぐち よう の養 じょう うえ 生マットの上でモップ え と つ の柄に取り付ける。 かんしき そと いり ②乾式モップで、外から入 ぐち じょじん にゅうしつ 口を除塵し、入室する。 しつない さぎょう て じゅん ③室内での作業手順は、 かんしき さぎょう て じゅん 乾式モップ作業手順の	え せんたん おやゆび そ ・柄の先端には親指を添 える。 へん ひろ ほう ・ヘッドの辺が広い方を せんこう 先行させる。 いりぐち ふ ・入口のゴミを踏まない ように足場を確保す る。 ゆか はな ・ヘッドは、床から離さ ない。 しょうず ・使用済みダスタークロ	・ゴミは、おがくず を50ml程度均等に まいてある。 てんけん さい こえ だ ・点検の際に声を出 さないこと。

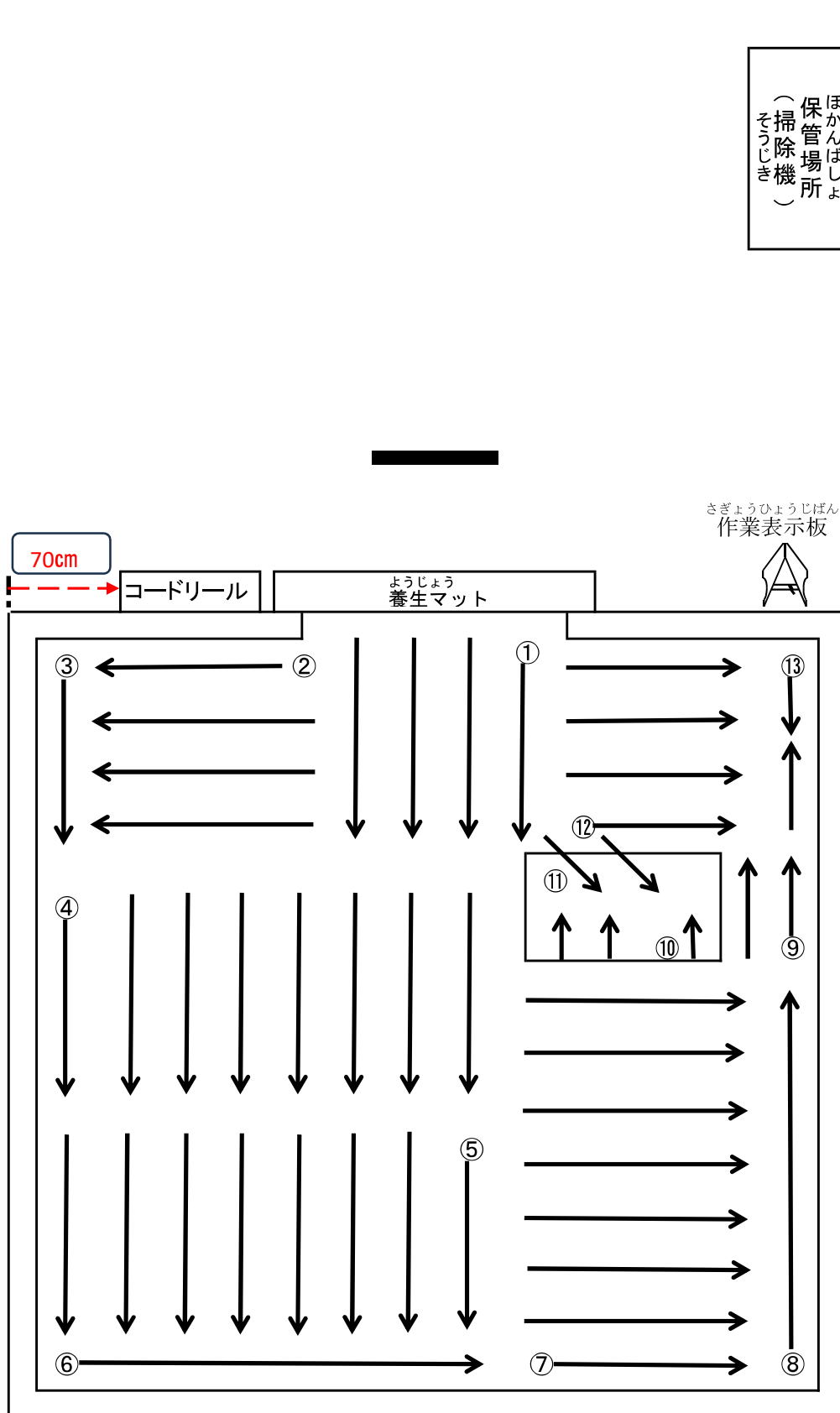
	とお^{おこな}り行^う。 ③ゴミは前^{ぜん}進^{しん}しながら出^で ぐちむ口^{くち}に向^むかって1箇^か所^{しょ}に集^{あつ} める。 ④ヘッ^えドを柄^えから外^{はず}す。 ⑤使用^し済^{よう}みのダ^ずス^ずターク ロス^ろをヘッ^えドから外^{はず}し、 カー^{ふくろ}トの袋^{なか}の中^{しゅうのう}に収^{しゅう}納^{のう} する。 ⑥柄^えとヘッ^えドをカー^えトに もど 戻^{もど}す。 ⑦小^こ型^{がた}ぼうきと文^{ぶん}化^かちり とり^しを^し使用^{よう}し、集^{あつ}めたゴ ミ^{かいしゅう}を回^{かい}収^{しゅう}する。 ⑧ゴミの取^とり残^{のこ}しがな い か^{てんけん}点^{てん}検^{けん}する。 ⑨小^こ型^{がた}ぼうき、文^{ぶん}化^かちりと り^{もど}をカー^{もど}トに戻^{もど}す。	スはカー^{ふくろ}トの袋^{なか}の中 に^い入^いれる。 ・ゴミの取^とり残^{のこ}しがある ば^ばあ^あい^いこ^こが^がた^たば^ばう^うきと 場^ば合^あは、小^こ型^{がた}ばうきと 文^{ぶん}化^かち^ちり^りと^しり^しを^し使用^{よう}し 回^{かい}収^{しゅう}する。 ・ヘッ^えドは、カー^こト上^{じょう}部^ぶ に、スポン^{めん}ジ^{うえ}面^{めん}を上^うに して、邪^{じゃ}魔^まにならな い よう^おに置^おく。	
--	--	--	--

さぎょうしょう
作業仕様1-2

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
みずぶ さぎょう 水拭き作業 (モップ)	①コート全体面積を拭く。 ②室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順のとおり行う。 ③コーナー周りとは机の脚元は房糸に手を添えて拭く。 ④モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	・拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・柄の先端には親指を添える。 ・房糸が幅木、机の脚部に触れないようにする。 ・拭いたところを踏まないようにする。	
ばこ ゴミ箱とイス下ろし	・安全に音を立てないように下ろす。	・足の上に落とさないように注意する。	
きじょうふ 机上拭き	①青色のタオルを八折にして持つ。 ②机の上を青色のタオルで水拭きした後に、白色のタオルでから拭きを行う。	・タオルが汚れたら、きれいな面を出して拭く。 ・机の縁を含めて、四隅から中央へと拭く。 ・横拭き・縦拭きを行う。	

てんけん 点検	ゆび さ また もく し てんけん ・指差し又は目視点検を おこな 行 う。	し き ざい わす と ・資機材の忘れ、ゴミの取 のこ り残しなどの点検を行 う。	てんけん さい こえ ・点検の際に声を出 さないこと。
たいしつ あいさつ 退室の挨拶	で ぐち しつない む ・出口にて、室内に向か たいしつ あいさつ おこな って退室の挨拶を行 う。	しつれい いちれい ・「失礼しました」等と一礼 たいしつ して退室する。	
し き ざい かたづ 資機材の片付け	さ ぎょうひょう じ ばん ・作業 表示板をカート しゅうのう ほ に 収 納し、カートを保 かん ばしょ もど 管場所に戻す。		
しゅうりょう あいさつ 終了の挨拶	しよてい い ち た しゅう ・所定の位置に立ち、終 りょう あいさつ おこな 了の挨拶を行 う。	お ・挙手または「終わりました」の意思 表示を行 う。 い し ひょう じ おこな	さ ぎょうしゅうりょう しん ・作業 終了 を申 こく こえ だ 告する。 声を出す ことが困難な場合 きょしゅ かま は挙手のみで構わ ない。

ゆかさぎょうてじゅん
カーペット床作業手順

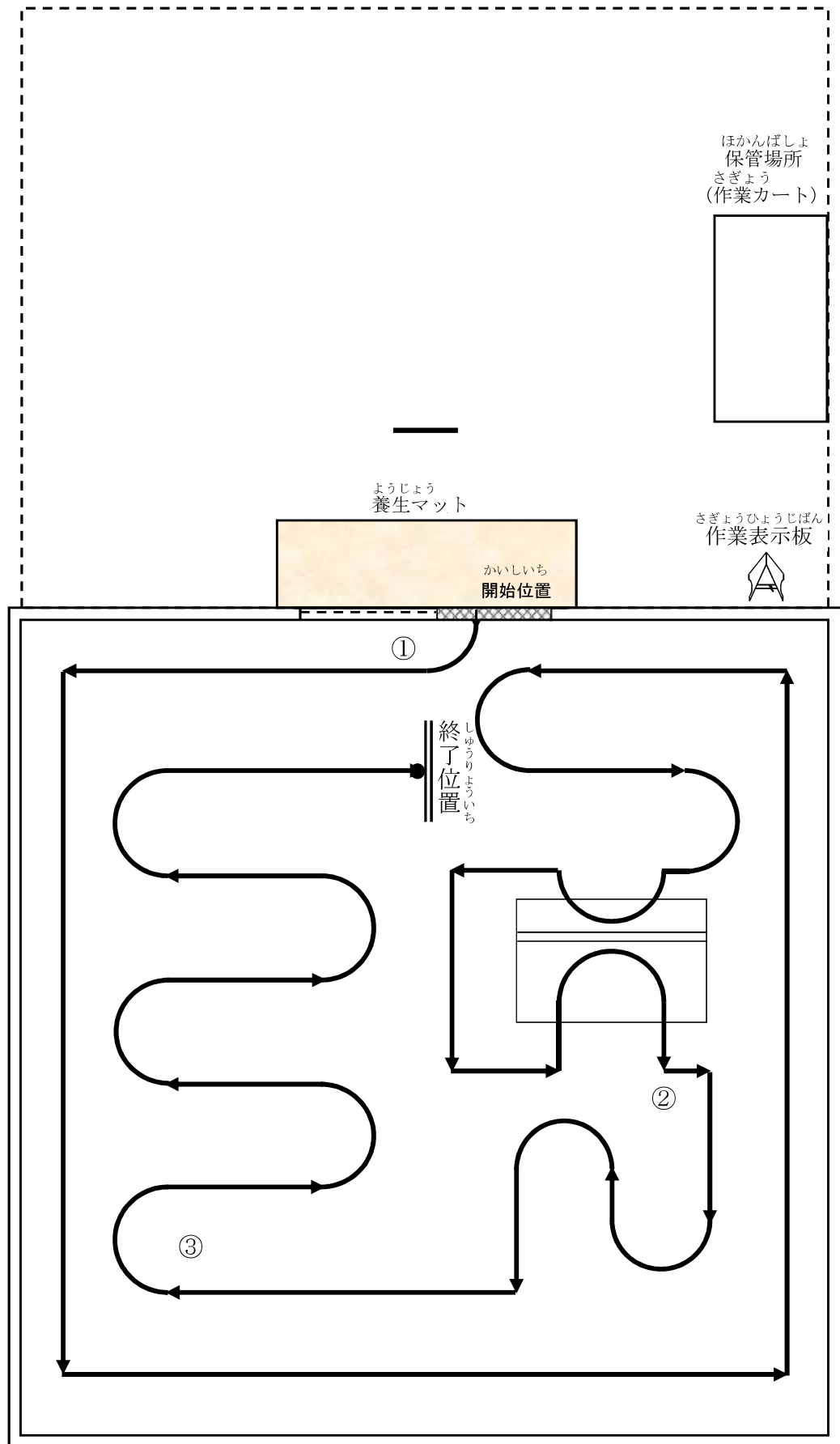


ちゅう さぎょう しんこう

きゅういんかいすう い

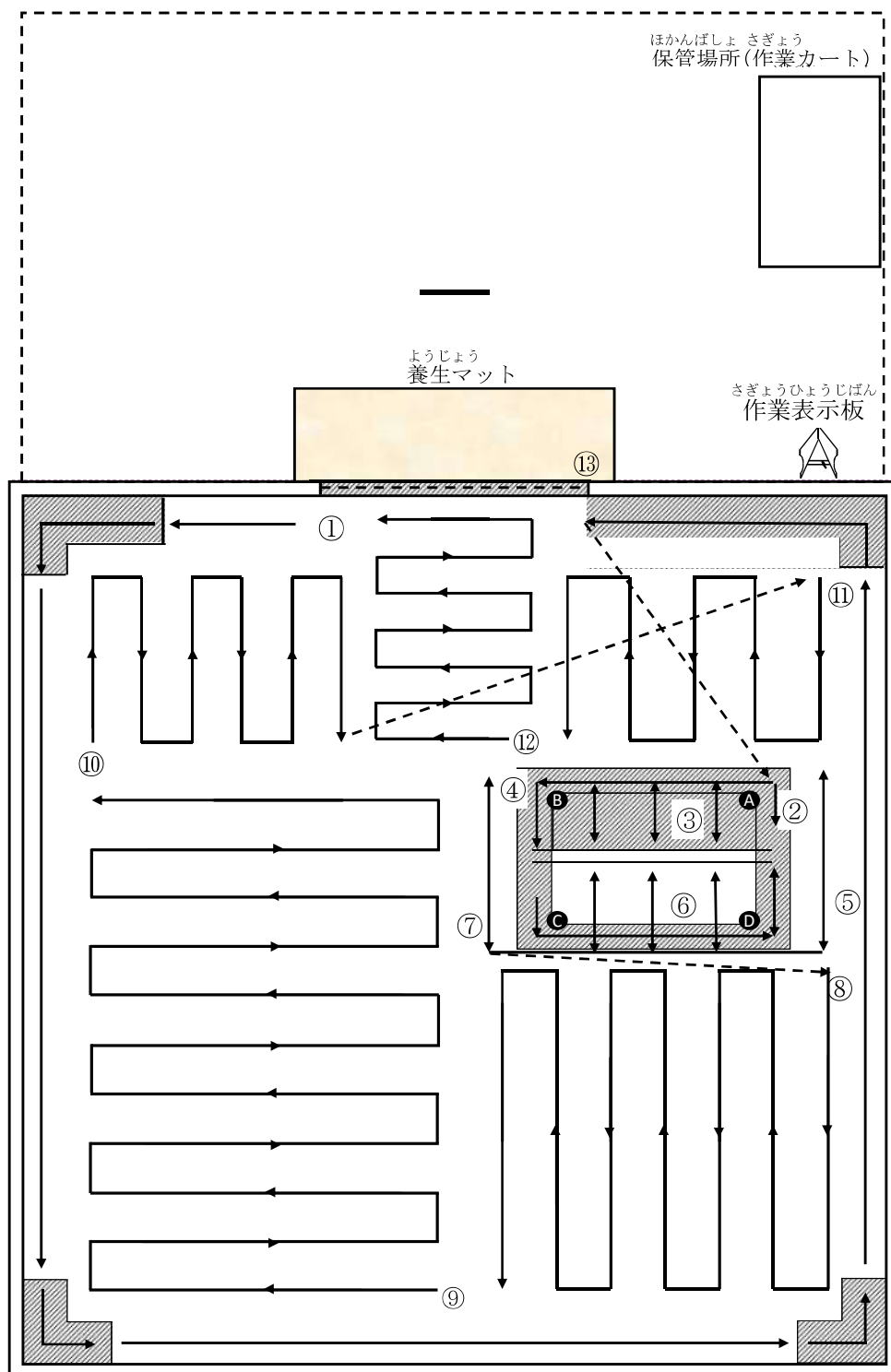
注: 作業の進行は①～⑬、吸引回数を入れたものではありません。

かんしき さぎょうてじゅん
乾式モップ作業手順



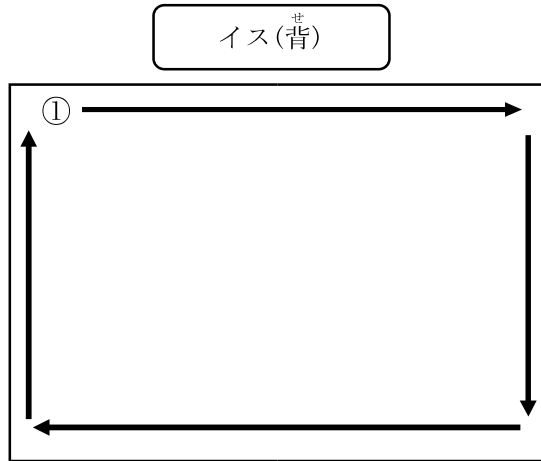
ちゅう かんしき ふ かいすう
注：乾式モップのヘッドを振る回数ではありません。

みずぶ さぎょうてじゅん
水拭きモップ作業手順



ちゅう 注： は手を添える箇所を示す。 みずぶ かいすう い 水拭き回数を入れたものではありません。

- ① 幅木側を1周すること。(コーナーは手を添えます)
- ② Aの脚周りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④ B脚、C脚、D脚の順に脚周りを手を添えて拭く
- ⑤ 机の脇(壁側)を拭く
- ⑥ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑦ 机の脇(入口側)を拭く
- ⑧～⑫ 拭きムラがないよう適切な間隔で拭く
- ⑬ 入口は手を添えて拭く

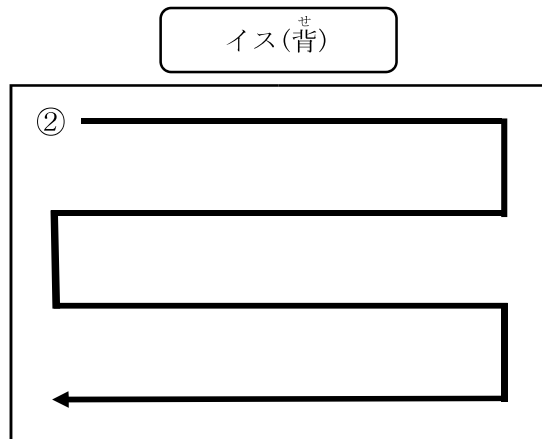


ふち つくえ へん かの 拭き方
縁（机の4辺）の拭き方

①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



作業者の立位置



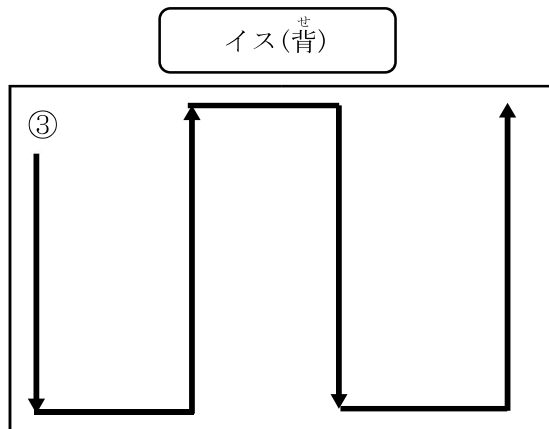
ちゅうおう かの 拭き方
中央の拭き方

②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。
また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)

※ 適宜タオルの面を変えながら拭く。



作業者の立位置



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下
に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように
注意します。また、上下の動きにより往復
回数は、異なります。)

※ 適宜タオルの面を変えながら拭く。



作業者の立位置

※から拭きも同じように行います。